

1/6 Meeting 論文の書き方

構成

日本語で統一

概要

- 深度予測が大事になる理由を一文くらいで(動機)
- 既存の手法の悪い理由
 - 計算が重いとか
- 「本研究では」から始める←テンプレ
 - 「本研究ではDNNベースの計算が軽い手法を提案します」的な
- 結果: 「高い精度で深度分布を予測できた」的な

導入 instruction

- 深度予測が大事になる理由を割と詳しく
- 既存手法の悪い理由を詳しく
 - 人工知能による深度分布予測の先行研究
- 「本研究では」も詳しく
- 結果を簡単にまとめる
 - 回帰・分類両方について

論文での導入は普通の意味での導入ではないので、それを見ただけでわかるようにするイメージでかく

(関連研究) ← いらない

手法

具体的な数値とかを書かない!! 21×21 ではなく $k \times k$ とか

具体的数値は全て一般性を持たせて書く

- 分類と回帰はそんなに差がないなら一つにまとめる
 - 事前に一言書いておくと親切

実験結果

- サブセクションにわけろ

1. 普通に結果を載せる

- 画像データ付きで予測結果を出す
 - 良い感じに予想できているのの実測と予想を並べる

train dataに入っていないのを選ぶ

2. 入力サイズによる違い・比較

- グラフ載せる
- このサイズの正当性もほしい
 - データに裏付けがあると嬉しい ← できれば
- 入力のサイズを動的に学習させる
 - 分類にもやって、両方のデータをとる

3. m^n による入力変形

- グラフ載せる
- このサイズの正当性もほしい
 - クラス分けがより明示的になるからとかの理由づけ

4. 3層MLPとの比較

- なぜうまくいかない...? 不思議ポイント
 - 震度0のせいで実質的な情報量がすくない?
 - 空間的特徴

まとめ

- 概要の言い換えでいい
- 事前の話を少なく、結果とか重視
- 「我々は従来の手法より計算が軽い画像ベースの手法を開発した」的な
- いかとうまく行っているかを書く
- 「展望としては」を最後を書く
 - 他の災害に活用できるとか?
 - 2個くらい

GUIはどうする??